

岩手県大槌町から創造 発信する大槌ジビエソーシヤルプロジェクト

「大槌ジビエサイクル」

全国、そして岩手県大槌町でも社会的課題となっている鳥獣被害を町の財産へと変えていくためにシカを狩猟するハンター達から食肉加工事業者へ、革や角はクラフト作家へ提供、これらの商品・作品を大槌のストーリーとともに特設の通販サイトで消費者へお伝えします。さらに興味を持った消費者が現地へ足を運べるジビエツアーを開催し、参加者がそれぞれの地域に持ち帰り、その地域における新たな取り組みや、ハンターの育成へとバトンをつなげられるような、好循環を生み出して、広くことを目指します。各地で頑張っている事業者だけでは決して実現できない、協働（パートナーシップ）によって相乗効果を生み出すジビエサイクルの輪を広げていきます。



大槌ジビエ ソーシヤルプロジェクト

大槌ジビエサイクルの イメージ図



大槌ジビエの特徴

三陸の海に面した大槌町の背後に広がる森には、ミズナラ、コナラ、クリといった実を豊富につけるナナ科の樹々やササの群生地も多く、生物多様性のレベルでも高い評価を得ています。このような恵まれた自然環境で育った大槌のニホンジカは大型のものが多く、肉質も柔らかく、旨味がしっかりとした味わい深い高品質なジビエ肉とされています。

プロジェクトのはじまり

全国各地で年々深刻化する鳥獣被害。その被害が原因で農業を断念する人が増えています。2017年より「ジビエ」に関わる社会的課題を持続的な仕組みで解決するため、有志のメンバーで「大槌ジビエ勉強会」を行ってきました。大槌ジビエソーシヤルプロジェクトは、40回を超える会議の中で議論・検討されてきた「大槌ジビエサイクル」を実現するためにはじまった、町と民間が連携した社会的なプロジェクトです。



県庁・岩手県・大槌町との意見交換会 鹿角作品の展示会

プロジェクトの輪を全国に！

あらゆる地域課題の解決に向けて、
いっしょに取り組んで行くために _____
高齢化が進んでいるハンターの体験・育成のための「体験費」や大槌ジビエの魅力を体験できるツアーも行います。
お気軽にご相談ください。

